

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	江北町立江北中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価保護者アンケートにおいて、「学力の向上」「生命尊重や思いやりの心を育む教育」「いじめについての早期発見」「生徒一人一人への理解」についての学校側の取り組みについて、約9割の保護者が肯定的な回答をしている。このことから、今年度の学校教育目標に沿った教育活動はおおむね推進できていると考えられる。しかし、「家庭学習に計画的に取り組んでいるか」という問いに対して保護者、生徒とも肯定的な回答は6割にとどまっており、今後、家庭学習に対し家庭と学校とで連携した取り組みを考えていく必要がある。</li> <li>・「業務効率化や時間外在職時間の削減」に対する教員の意識については8割以上の教員が肯定的な回答をしており、教職員の働き方改革への意識も高まっている。しかし、年休取得率については目標を達成することができておらず、今後は年休を取得しやすい職場環境作りにも努める必要がある。</li> <li>・小中連携の一つとして、特別支援教育に係る情報交換や合同研修等での連携が進み、小中連携した適切な支援の充実が図られている。一方で、小学校との授業交流や継続した学びに関する研修等は十分とは言えず、さらなる連携を進めていく必要がある。</li> </ul>
2 学校教育目標	自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな学力の育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律の確立</li> <li>・「めあて」「まとめ」「振り返り」で授業改善</li> <li>・家庭学習の質向上</li> <li>・ICTの利活用</li> <li>・小中連携の推進</li> </ul> </li> <li>○心の教育の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導・支援体制の充実</li> <li>・不登校対策推進</li> <li>・道徳教育の充実</li> <li>・特別支援教育の推進</li> <li>・人権・同和教育の推進</li> </ul> </li> <li>○自主活動の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動の充実</li> <li>・生徒主体行事の推進</li> <li>・ボランティア活動の推進</li> <li>・キャリア教育の充実</li> <li>・無言清掃の推進</li> </ul> </li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○学習計画と振り返りの習慣化を通して自ら学びを調整する力と主体的に取り組む力の育成	○「自分で立てた計画に沿って学習を進めよう」と答える生徒の割合70%以上。 ○「家庭学習に1時間以上、計画的に取り組んでいる」と答えた生徒の割合60%以上。	・フォーサイトに記入する時間を毎日設定し、習慣化させる。 ・家庭学習の計画をフォーサイトに記入させ、家庭学習の習慣を定着させる。 ・生徒による授業アンケートを学期に1回実施し、授業改善を行う。							学力向上コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業を受けることは楽しい」と答えた生徒の割合80%以上。 ○「深い学びにつながるよう、考え、議論する道徳の授業の実践に取り組んでいる」と答えた教員の割合70%以上。	・人権集会や平和集会を実施する。 ・学年を中心にチーム・ティーチングによる授業を実践し、道徳教材の工夫改善と授業の充実を図る。 ・自他を尊重する態度を称賛する場を設定する。							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当	
	●いじめの早期発見・早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員の割合80%以上。 ○「いじめや差別を許さず、自他を尊重し安心・安全に留意している」と答えた生徒の割合80%以上。	・いじめ対応についての研修・会議を年間2回実施する。 ・学校生活に関するアンケートの実施とSCIによる定期的な講話やカウンセリングの実施。 ・いじめの早期発見・対応のための学校生活アンケートの実施と職員との連絡体制の確立を図る。							生徒指導主事	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上	・職業調べ、職場体験、高校説明会など学年ごとの体験的な活動を生かしながら、正しい職業観や見通しをもって進路を選択する態度や意識を養い、進路学習を充実させる。 ・「キャリアパスポート」を活用し、将来の進路について考えさせる機会を設定する。							進路指導主事	
	○教育相談の充実	○「学校生活の中で相談できる人(先生、スクールカウンセラーや友達など)がいる」と肯定的に回答する生徒85%以上 ○「学校はSCやSSWと連携した教育相談体制が機能している」と答えた教員の割合85%以上。	・教育相談週間を年に2回設定し、全職員で生徒の相談にあたる。 ・毎週教育相談部会を開催し、SCやSSWの助言をもとに生徒の実態に応じた対応ができる体制を整備する。 ・Q-Uアンケートの活用を図る。							教育相談担当	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上 ○朝食をとって登校する児童生徒95%以上	・生徒会給食部の活動と連携し、「食」の大切さについて考える活動を行う。 ・江北小学校の栄養教諭と連携を図り、学年ごとに栄養教諭による講話を行う。							食育指導担当	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在職等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・3ヶ月ごとの月平均残業時間を45時間にする。 ・定時退勤日や事務処理時間を設定する。 ・ICTを活用した業務の効率化を図る。							校長、教頭、教務主任	
●特別支援教育の充実	○生徒の特性に応じた教育の充実	○特別支援教育に係る支援体制が機能していると回答する教員が80%以上。	・該当する生徒の個別の指導計画、教育支援計画を100%作成し、生徒の支援・指導に生かす。 ・特別支援教育に関する校内研修会を1回以上実施する。 ・特別支援教育部会を月2回以上開催し、全職員で連携して生徒の指導・支援にあたる。							特別支援教育コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○小中連携教育	○小学校との連携推進	○小学校との連携ができていると回答する教員80%以上。	・教務、生徒指導主事、教育相談担当、特別支援教育コーディネーターが、小学校との情報共有を図る場の設定する。 ・小中合同の研修会を実施する。								校長、教頭、教務主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	--